

(別記)

令和5年度金ヶ崎町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、西にそびえる駒ヶ岳から東に扇状に開けた地形となっており、全水田面積の約3分の2を占める水稻を基幹とし、転作水田において大豆や飼料作物をはじめ、アスパラガスなどの園芸作物の生産を推進している。

町の重点推進作物であるアスパラガス、きゅうり及びピーマンをはじめとした園芸作物については、栽培農家の高齢化等による労働力不足の影響があり作付面積が維持ないし減少傾向にある。

大豆については、連作障害による単収低下や播種期・開花期の天候不順等の要因により年次による単収の変動が顕著となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本町ではこれまで、収益性や本町の気候・圃場条件に適した転換作物として、町の重点推進作物3品目（アスパラガス、きゅうり、ピーマン）、地域振興作物6品目（キャベツ、えだまめ、なす、たまねぎ、りんどう、小菊）を選定し、産地化に向けて取り組んできており、今後も引き続き推進していく。

特にもアスパラガスにおいては、近年生産量が減少傾向にある一方で、労働力不足による面積拡大が難しい状況にあることから、単収向上の取組をこれまで以上に推進することで生産量の維持拡大につなげていく。

また、新市場開拓に向け、新市場開拓用米にも引き続き取り組んでいく。

併せて加工用米及び新市場開拓用米において、低コスト生産技術等を導入し、効率的な生産体系確立により生産者の収益力向上の強化につなげていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本町において水田は、水稻を基幹とし、大豆、飼料用作物等に活用されているが、主食用米の需要が減少する中、需要に応じた米の生産・販売を進めるとともに高収益な畑作物の本作化を進める必要がある。

一方で水田での畑作物栽培は、排水の問題や畦畔等による作業効率の問題があり、より生産性を高めて行くためには畑地化により排水改善や作業効率の向上を図る必要がある。

そのため、令和5年度からは、畑作物等を継続して栽培する予定の水田については、畑地化支援事業を活用し畑地としてより畑作物の生産性を高めるように推進する。

また、農地基盤整備事業の実施地区においては、高収益作物を取り入れた水稻と転換作物とのブロックローテーションについて、農業者及び関係機関と取組に向けて検討を引き続き行っていく。

水田の利用状況については、令和4年度も当町農業委員会で実施した農地パトロールの結果、今後水稻への活用の可能性がない水田となった圃場について農地（水田）から除外するなど現況と一致するように取り組んだ。今年度も引き続き現況に照らし合わせた点検をしていくこととする。

また、これまでも耕作者が耕作を継続することが困難になった際は、地域の農業委員を中心に引き受け先を探し引き続き農地として有効利用されるように取り組んできたが、経

営体の高齢化等により今後も相談等が増加すると思われることから、今年度も継続して取り組むことで担い手等への集積につなげる。

4 作物ごとの取組方針等

町内の約 3,200 ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（1）主食用米

当地域は日本穀物検定協会により「岩手県南ひとめぼれ」として最高クラスの「特A」を令和4年産までに通算23回獲得しており、米の主産地として地位を確保している。

また、近年では「金色の風」「銀河のしずく」も作付けされてきている。

今年度も引き続き前年の需要動向や集荷業者の意向を勘案しつつ、主食用米の生産を行う。

（2）備蓄米

備蓄米については、契約数量に応じた生産に取り組む。

（3）非主食用米

ア 飼料用米

当地域内においては、自家供給及び実需者と供給契約の締結できる農業者について、産地交付金を活用し、団地化及び直播や疎植栽培、多収品種の導入等低コスト生産の取組や、わら利用及び資源循環（耕畜連携）の取組に対し支援を行い、継続的な生産及び循環型農業の構築を目指す。

イ 米粉用米

作付及びその見込みがないことから、現状では取組について想定していない。

ウ 新市場開拓用米

町内の認定方針作成者において取り扱いの意向があることから、実需者との結び付きを強化し安定供給を目指す。

エ WCS用稲

実需者（畜産農家）との連携を進め、生産の維持・拡大を図る。また、資源循環（耕畜連携）の取組に対し産地交付金を活用し支援を行うことにより、循環型農業の拡大を図る。

オ 加工用米

町内の認定方針作成者において取り扱いに意向があることから、複数年契約に対して産地交付金を活用し支援を行い、実需者との結び付きを強化し安定供給を目指す。

（4）麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、当地域の主力品目として産地交付金を活用し、担い手への集積及び単収向上のための排水対策及び堆肥散布による土壌改良等に対し支援を行い、生産性・収益性の高い産地づくりを推進する。

飼料作物については、産地交付金を活用し、担い手への集積、資源循環や水田放牧による耕畜連携の取組に対し支援を行い、低コスト生産による実需者への安定供給や循環型農業の確立を目指す。

(5) そば、なたね

そばについては、産地交付金を活用し、堆肥散布による土壌改良や担い手への集積に対し支援を行い、生産物の品質向上や低コスト生産の推進を図る。また、そばの生産を行う水田については、排水対策や湿害対策等農地整備の取組を強化する。

なたねについては該当なし。

(6) 地力増進作物

地力増進作物については、産地交付金を活用し次期作に向けた地力増進を計画するエン麦等の作付けに対し支援を行い高収益作物の収量増を目指す。

(7) 高収益作物

ア アスパラガス

当地域では、アスパラガスを町の重点推進作物として産地確立を目指している。

しかし、アスパラガスは作業量が多く栽培開始時の初期投資負担が大きい一方で作付1年目に収益が無い。

また、労働力不足に加えて連作障害により同一圃場での更新が困難なことから更新時期に作付けを止める経営体もあり面積が減少傾向にある。

当町におけるアスパラガス栽培のほとんどが露地栽培であることから収量が天候に左右されやすく安定しないことも課題となっている。

このため、産地交付金を活用し、担い手への集積や土壌改良、作付面積拡大の取組に対し支援を行い、新規栽培の増加や生産面積の拡大を目指す。また、単収の向上を図る取組についても支援を行い安定供給体制の確立を目指す。

イ きゅうり、ピーマン

当地域では、きゅうり及びピーマンを町の重点推進作物として産地確立を目指しているが生産者の高齢化等により生産量及び生産面積が維持ないし減少傾向にある。このため、産地交付金を活用し担い手への支援や作付面積の拡大、土壌改良等の支援を行い、生産面積の維持拡大を図る。

ウ キャベツ、えだまめ、なす、たまねぎ、りんどう、小菊

町の地域振興作物として生産の拡大を推進するため、産地交付金を活用し担い手への集積や土壌改良等に対し支援を行い、生産面積の維持拡大を図り、安定供給体制の確立を図る。

エ その他の野菜

産地交付金を活用し、土壌改良等に支援を行い、生産量の向上を目指すとともに、生産面積の維持拡大を図る。

オ 花き、花木（りんどう、小菊以外）

産地交付金を活用し、土壌改良等に支援を行い、生産量の向上を目指すとともに、生産面積の維持拡大を図る。

カ 果樹

産地交付金を活用し、土壌改良等に支援を行い、生産量の向上を目指すとともに、生産面積の維持拡大を図る。

キ その他作物

産地交付金を活用し、土壌改良等に支援を行い、生産量の向上を目指すとともに、生産面積の維持拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等 ~ **8 産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位：ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2,159.3		2,137.2		2,137.2	
備蓄米	23.8		23.8		23.8	
飼料用米	86.6		91.9		91.9	
米粉用米	0.0		0.0		0.0	
新市場開拓用米	24.3		35.9		35.9	
WCS用稲	55.9		55.8		55.8	
加工用米	45.9		45.9		45.9	
麦	2.7		5.3		5.3	
大豆	143.7		130.4		130.4	
飼料作物	367.8		158.9		158.9	
・子実用とうもろこし	0.0		0.0		0.0	
そば	5.7		18.1	12.8	18.1	12.8
なたね	0.0		0.0		0.0	
地力増進作物	0.7		0.9		0.9	
高収益作物	65.0		49.4		49.4	
・野菜	61.8		46.0		46.0	
アスパラガス	13.7		14.0		14.0	
きゅうり	2.8		2.4		2.4	
ピーマン	2.2		2.4		2.4	
なす	1.1		1.0		1.0	
振興作物	42.0		26.2		26.2	
・花き・花木	1.4		1.2		1.2	
りんどう	1.2		1.0		1.0	
小菊	0.1		0.1		0.1	
振興作物	0.1		0.1		0.1	
・果樹	0.0		0.0		0.0	
振興作物	0.0		0.0		0.0	
・その他の高収益作物	1.8		2.2		2.2	
振興作物	1.8		2.2		2.2	
その他	0.0		0.0		0.0	
・	0.0		0.0		0.0	
畑地化	0.0		221.6		221.6	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	大豆	生産性・品質向上加算助成	取組面積 単収	(令和4年度) 129.4ha (令和4年度) 103kg/10a	(令和5年度) 131.0ha (令和5年度) 107kg/10a
1	麦	生産性・品質向上加算助成	取組面積 単収	(令和4年度) 2.0ha (令和4年度) 134kg/10a	(令和5年度) 2.2ha (令和5年度) 150kg/10a
2	大豆	土づくり助成（畑作物）	取組面積 単収	(令和4年度) 35.6ha (令和4年度) 103kg/10a	(令和5年度) 38.5ha (令和5年度) 107kg/10a
2	麦	土づくり助成（畑作物）	取組面積 単収	(令和4年度) 2.1ha (令和4年度) 134kg/10a	(令和5年度) 2.2ha (令和5年度) 150kg/10a
2	そば	土づくり助成（畑作物）	取組面積 単収	(令和4年度) 0.9ha (令和4年度) 50.3kg/10a	(令和5年度) 1.0ha (令和5年度) 53kg/10a
2	そば（二毛作）	土づくり助成（畑作物）	取組面積 単収	(令和4年度) 0.0ha (令和4年度) -	(令和5年度) 2.2ha (令和5年度) 53kg/10a
3	飼料用米生産ほ場の稲わら	飼料用米のわら利用助成（耕畜連携）	取組面積 対象作物の作付面積に対する取組率	(令和4年度) 6.3ha (令和4年度) 7.2%	(令和5年度) 6.7ha (令和5年度) 7.3%
4	飼料用米、粗飼料作物等	資源循環助成（耕畜連携）	取組面積 対象作物の作付面積に対する取組率	(令和4年度) 28.8ha (令和4年度) 5.6%	(令和5年度) 29.0ha (令和5年度) 7.0%
5	アスパラガス、きゅうり、ピーマン	重点推進作物助成	作付面積	(令和4年度) アスパラガス11.0ha きゅうり2.3ha ピーマン2.3ha	(令和5年度) アスパラガス11.2ha きゅうり2.4ha ピーマン2.4ha
6	地域振興作物	地域振興作物助成	作付面積	(令和4年度) 2.0ha	(令和5年度) 2.2ha
7	振興作物	振興作物助成	作付面積	(令和4年度) 5.5ha	(令和5年度) 5.7ha
8	重点推進作物、地域振興作物	担い手加算助成（重点推進作物、地域振興作物）	担い手における作付面積 対象作物の担い手への集積率	(令和4年度) 11.0ha (令和4年度) 62.5%	(令和5年度) 13.0ha (令和5年度) 71.4%
9	重点推進作物	土づくり助成（重点推進作物、地域振興作物、振興作物）	取組面積 取組率	(令和4年度) 8.3ha (令和4年度) 53.2%	(令和5年度) 8.4ha (令和5年度) 52.4%
9	地域振興作物	土づくり助成（重点推進作物、地域振興作物、振興作物）	取組面積 取組率	(令和4年度) 4.3ha (令和4年度) 41.4%	(令和5年度) 4.5ha (令和5年度) 43.4%

9	振興作物	土づくり助成 (重点推進作物、地域振興作物、振興作物)	取組面積 取組率	(令和4年度) 6.7ha (令和4年度) 34.8%	(令和5年度) 6.8ha (令和5年度) 35.3%
10	アスパラガス	収益力向上加算助成 (全体)	取組面積 取組率	(令和4年度) 9.6ha (令和4年度) 87.2%	(令和5年度) 8.8ha (令和5年度) 78.5%
		収益力向上加算助成 (植栽1年目、単収200kg/10a以上)	取組面積 取組面積全体に占める割合	(令和4年度) — (令和4年度) —	(令和5年度) 4.0ha (令和5年度) 45.5%
		収益力向上加算助成 (単収100kg/10a以上200kg/10a未満)	取組面積 取組面積全体に占める割合	(令和4年度) — (令和4年度) —	(令和5年度) 4.8ha (令和5年度) 54.5%
11	飼料作物	担い手加算助成(飼料作物)	担い手における作付面積 対象作物の担い手への集積率	(令和4年度) 209.0ha (令和4年度) 59.1%	(令和5年度) 180ha (令和5年度) 51.1%
12	飼料用米	団地化加算助成	団地化面積 労働時間の削減	(令和4年度) 29.5ha (令和4年度) 34.0%	(令和5年度) 32.0ha (令和5年度) 35.5%
13	重点推進作物、地域振興作物	作付拡大助成(園芸品目)	拡大面積(単年度)	(令和4年度) 重点推進作物1.8ha 地域振興作物0.2ha	(令和5年度) 重点推進作物1.0ha 地域振興作物0.4ha
14	加工用米	加工用米複数年契約助成	複数年契約面積	(令和4年度) 45.9ha	(令和5年度) 45.9ha
15	そば	そば作付助成	作付面積	(令和4年度) 4.4ha	(令和5年度) 6.0ha
16	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組助成	取組面積	(令和4年度) 24.3ha	(令和5年度) 35.9ha
17	地力増進作物	地力増進作物助成	作付面積	(令和4年度) 0.7ha	(令和5年度) 0.9ha
18	新市場開拓用米	新市場開拓用米複数年契約助成	複数年契約取組面積・数量	(令和4年度) 0.0ha	(令和5年度) 35.9ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：岩手県

協議会名：金ケ崎町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	生産性・品質向上加算助成	1	23,100	大豆、麦	湿害・排水対策等
2	土づくり助成（畑作物）	1	5,390	大豆、麦、そば	土づくりを目的に製品堆肥を購入し散布すること等
2	土づくり助成（畑作物）（二毛作）	2	5,390	そば	土づくりを目的に製品堆肥を購入し散布すること等
3	飼料用米のわら利用助成（耕畜連携）	3	10,010	飼料用米生産ほ場の稲わら	利用供給協定締結、新規需要米取組計画認定、生産性向上の取組等
4	資源循環助成（耕畜連携）	3	10,010	飼料用米、粗飼料作物等 ※別紙1のとおり	利用供給協定締結、畜産農家から供給を受けた堆肥を対象水田に施肥すること等
5	重点推進作物助成	1	23,100	アスパラガス、きゅうり、ピーマン	作付面積に応じて支援
6	地域振興作物助成	1	19,250	なす、りんどう、小菊	作付面積に応じて支援
7	振興作物助成	1	7,700	振興作物 ※別紙2のとおり	作付面積に応じて支援
8	担い手加算助成（重点推進作物、地域振興作物）	1	19,250	アスパラガス、きゅうり、ピーマン、なす、りんどう、小菊	担い手（認定農業者、認定新規就農者、特定農業団体）の作付面積に応じて支援
9	土づくり助成（重点推進作物、地域振興作物、振興作物）	1	19,250	アスパラガス、きゅうり、ピーマン	土づくりを目的に製品堆肥を購入し散布すること等
9	土づくり助成（重点推進作物、地域振興作物、振興作物）	1	15,400	なす、りんどう、小菊	土づくりを目的に製品堆肥を購入し散布すること等
9	土づくり助成（重点推進作物、地域振興作物、振興作物）	1	7,700	振興作物 ※別紙2のとおり	土づくりを目的に製品堆肥を購入し散布すること等
10	収益力向上加算助成（植栽1年目、単収200kg以上）	1	12,320	アスパラガス	湿害・排水対策、防除対策等、単収に応じて支援
10	収益力向上加算助成（単収100kg以上200kg未満）	1	6,160	アスパラガス	湿害・排水対策、防除対策等、単収に応じて支援
11	担い手加算助成（飼料作物）	1	770	飼料作物 ※別表5のとおり	担い手（認定農業者、認定新規就農者、特定農業団体）の作付面積に応じて支援
12	【県推進メニュー】団地化加算助成	1	7,700	飼料用米	対象作物の団地化、新規需要米取組計画認定等
13	作付拡大助成（園芸品目）	1	19,250	アスパラガス、きゅうり、ピーマン	新規・増反面積に応じて支援
13	作付拡大助成（園芸品目）	1	11,550	なす、りんどう、小菊	新規・増反面積に応じて支援
14	加工用米複数年契約助成	1	9,240	加工用米	複数年での出荷販売契約、加工用米取組計画認定等
15	そば作付助成	1	20,000	そば	作付面積に応じて支援
16	新市場開拓用米取組助成	1	20,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援
17	地力増進作物助成	1	20,000	地力増進作物 ※別紙5のとおり	作付面積に応じて支援
18	新市場開拓用米複数年契約助成	1	10,000	新市場開拓用米	複数年での出荷販売契約、新規需要米取組計画認定等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(別紙1) 粗飼料作物等

飼料用米
青刈りとうもろこし
青刈りソルガム
テオシント
スーダングラス
青刈り麦（らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。）
青刈り大豆
子実用えん麦
青刈り稲
WCS用稲
オーチャードグラス
チモシー
イタリアンライグラス
ペレニアルライグラス
ハイブリットライグラス
スムーズブロムグラス
トールフェスク
メドーフェスク
フェストロリウム
ケンタッキーブルーグラス
リードカナリーグラス
バヒアグラス
ギニアグラス
カラードギニアグラス
アルファルファ
オオクサキビ
アカクローバ
シロクローバ
アルサイククローバ
ガレガ
ローズグラス
パラグラス
パンゴラグラス
ネピアグラス
セタリア

(注) 上記の粗飼料作物等については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛に供される場合に限ります。

(別紙2)

振興作物一覧

振興作物	<p>〔野菜〕 青さやいんげん、青さやえんどう、いちご、かぼちゃ、しいたけ、小松菜、さといも、しそ、大根、たらのめ、とうもろこし、トマト(加工用を除く)、にら、フキ、ホウレンソウ、未成熟とうもろこし、ミニトマト、みょうが、夕顔、わらび、オクラ、プチヴェール、食用菊、レタス、食用かんしょ、白菜、うど、メロン、しょうが、なばな、ブロッコリー、らっきょう、うり、シドケ、野沢菜、すいか、アスパラ菜</p>
	<p>〔花き・花木〕 アリウム、アルストロメリア、スターチス、カンパネラ、ゴデチア、ラナンキュラス、きく、ストック、デルフィニューム、トルコギキョウ、ひまわり、ゆり、アスター、ユウカリ</p>
	<p>〔果樹〕 いちじく※、うめ※、おうとう※、かき※、ガーデンハックルベリー※、キウイフルーツ※、くり※、くるみ※、西洋なし※、日本なし※、ぶどう※、ブルーベリー※、もも※、山ぶどう※、りんご※</p>
	<p>〔その他作物〕 小豆、たばこ</p>

※は収穫までに年数を必要とする作物

(別表2) 粗飼料作物等の範囲

青刈りとうもろこし
青刈りソルガム
テオシント
スーダングラス
青刈り麦（らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。）
青刈り大豆
子実用えん麦
青刈り稲
WCS用稲
オーチャードグラス
チモシー
イタリアンライグラス
ペレニアルライグラス
ハイブリットライグラス
スムーズブロムグラス
トールフェスク
メドーフェスク
フェストロリウム
ケンタッキーブルーグラス
リードカナリーグラス
バヒアグラス
ギニアグラス
カラードギニアグラス
アルファルファ
オオクサキビ
アカクローバ
シロクローバ
アルサイククローバ
ガレガ
ローズグラス
パラグラス
パンゴラグラス
ネピアグラス
セタリア

(注) 上記の粗飼料作物等については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛に供される場合に限ります。

(別表3)

重点推進作物、地域振興作物及び振興作物一覧

重点推進作物	〔野菜〕 アスパラガス※、きゅうり、ピーマン
地域振興作物	〔野菜〕 なす 〔花き〕 りんどう※、小菊
振興作物	〔野菜〕 青さやいんげん、青さやえんどう、いちご、かぼちゃ、しいたけ、小松菜、さといも、しそ、大根、たらめ、とうもろこし、トマト(加工用を除く)、にら、フキ、ホウレンソウ、未成熟とうもろこし、ミニトマト、みょうが、夕顔、わらび、オクラ、プチヴェール、食用菊、レタス、食用かんしょ、白菜、うど、メロン、しょうが、なばな、ブロッコリー、らっきょう、うり、シドケ、野沢菜、すいか、アスパラ菜
	〔花き・花木〕 アリウム、アルストロメリア、スターチス、カンパネラ、ゴデチア、ラナンキュラス、きく、ストック、デルフィニウム、トルコギキョウ、ひまわり、ゆり、アスター、ユーカリ
	〔果樹〕 いちじく※、うめ※、おうとう※、かき※、ガーデンハックルベリー※、キウイフルーツ※、くり※、くるみ※、西洋なし※、日本なし※、ぶどう※、ブルーベリー※、もも※、山ぶどう※、りんご※
	〔その他作物〕 小豆、たばこ

※は収穫までに年数を必要とする作物

※1つの圃場に別表3及び別表4に記載の作物を複数作付けしている場合は「その他野菜」とし振興作物とする。

(別表4)

県枠メニュー「土地利用型作物助成」一覧

地域振興作物	〔野菜〕 えだまめ、キャベツ、たまねぎ
振興作物	〔野菜〕 にんじん、ねぎ、にんにく、食用ばれいしょ、加工用トマト

(別表5) 飼料作物の範囲

テオシント
スーダングラス
オーチャードグラス
チモシー
イタリアンライグラス
ペレニアルライグラス
ハイブリットライグラス
スムーズブロムグラス
トールフェスク
メドーフェスク
フェストロリウム
ケンタッキーブルーグラス
リードカナリーグラス
バヒアグラス
ギニアグラス
カラードギニアグラス
アルファルファ
オオクサキビ
アカクローバ
シロクローバ
アルサイククローバ
ガレガ
ローズグラス
パラグラス
パンゴラグラス
ネピアグラス
セタリア
青刈りとうもろこし

(注) 上記の飼料作物については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛に供される場合に限ります。

別紙5 地力増進作物一覧

対象作物
ソルガム
エンバク
ライムギ
イタリアンライグラス
ヘアリーベッチ
レンゲ
クリムソンクローバ
アカクローバ
クロタラリア
ヒマワリ
マリーゴールド
シロガラシ
ナタネ
カラシナ
ハゼリソウ